



本セミナーの背景と狙い

- ◆ 企業経営者の皆様から、「改善活動はかなり積極的に行っているのだが、経営成果に直結していないように感じる」との発言をしばしば耳にします。せっかく従業員の皆さんが努力していることに報いたいが、その原資を改善活動から生み出せないというジレンマがあるようです。
- ◆ 5S、ムダ排をはじめとして、巷間言われている改善活動を進めているが、経営成果に結びつかない。工場の見てくれは確かに変わってきたのだが、利益の創出にはつながってこないようです。
- ◆ 本セミナーでは、このようなお悩みをお持ちの経営層、管理職の皆様にも、改善活動を経営成果に結びつけるための考え方について解説いたします。

セミナーの狙い

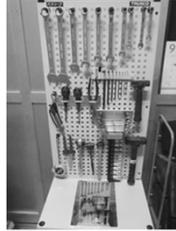
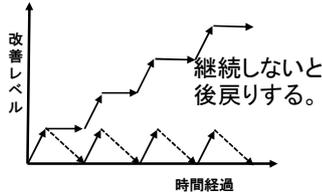
「目指す経営成果を狙った改善活動に転換する」

- ◆ 現在直面している経営課題や将来の目指す姿を達成するための、改善活動のあり方を提示します。

なぜ改善活動が経営成果につながらないのか

改善活動が経営成果につながっていない要因にはいくつか考えられます。改善の進捗と後戻りの繰り返しで、基盤レベルの向上につながっていないケース、見てくれだけの改善で満足しているケース、改善指標が具体的ではないために経営成果とのつながりの中で改善が進まないケース、時間レベルの改善にとどまっているケースなどが見られます。

◆ 2S改善の繰り返し



◆ 見てくれ改善で満足

職場はきれいになった。
しかし、
便利に、楽になった気がしない。

◆ 指標レスによる管理レス

経営成果につながる指標の設定
していますか？

- 生産性
- リードタイム
- 稼働率
- 納期遵守
- 直行率

◆ 時間レベルの改善効果

**改善 1H
++改善 0.5H
##改善 1.2H

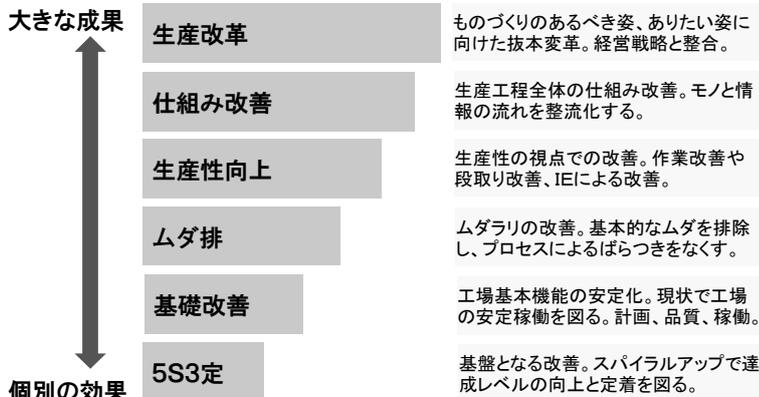
1名削減
(残業 0時間)

残業のゼロ化から人員削減へ。

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

改善活動にはステップがある

改善は現場任せではいけません。全体最適視点で目指す状態を設定することが必要です。全体最適には「範囲」と「レベル」の2つの視点があります。範囲とは、人・設備レベルの改善から全工程を対象とする工程繋がりを意識した範囲までを対象とする。レベルとは、タイミングの良さを言います。「各部門で考える」では目指す姿はできない。トップダウンで描き共有する必要があります。



Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

何故改善をするのか

- ◆ 企業を取り巻く環境は常に動き、変化しています。変化に追随し、対応しながら継続的に企業を発展させること。
- ◆ 企業、従業員、顧客そして株主の満足を得ること。
- ◆ 何事も完璧はあり得ないので、改善を繰り返すことで、少しでも完璧な姿に近づける。
- ◆ 改善を通じて、人は気づき、改善への対応策を考えることで、人それぞれが育成される。

競争力維持・強化

QCDSのレベルアップ

- ★ 会社からの視点
 - 収益の拡大
- ★ 労働者からの視点
 - 安全で楽に作業を行う
- ★ お客様からの視点
 - より良いものを、より安く、確実に入手
- ★ 株主の視点
 - 適正な投資還元を行う

トップダウン変革

バランスを図りながら

ボトムアップ改善

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

改善は狙って行う

改善は、経営戦略に基づきテーマを絞り、狙った成果を獲得することを目指します。利益を増大させるという経営目標を目指した場合に、大きな方向性は、売上高の増大と製造原価の低減となります。

利益の増大を目指した場合：生産部門が対応すべき改善点

売上高の増大

- ◆ 販売数量の増大 基本はマーケティングの課題
生産量の拡大が必要
- ◆ 販売価格の引き上げ 市場価格に大きく依存
差別化製品であることが必要

製造原価の低減

- ◆ 直接原価の低減 直接材料費の低減
直接労務費の低減
- ◆ 間接費の低減 間接業務効率の向上
減価償却費の削減

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

まとめ

- ◆ 改善とは、誤りや不都合を正しい姿、より良い姿に修正すること、その行動。
- ◆ 改善の効果は、適切な指標を選び、定量的な目標を設定しながら、継続することで得られる。
- ◆ 改善には、範囲とレベルを考慮する。日常のミクロレベルの改善から、生産性向上、仕組みの改善を経て、生産革新を目指す。
- ◆ 改善は、外部環境、内部環境の変化に対応し、利害関係者の満足を得るために行う。
- ◆ 改善は、経営戦略(経営目標)の実現に向けて、的を狙って行う。